

「直売所の運営に携わって」

恋人の丘サラダマーケット代表

松本市波田商工会長

中野 悦実

当商工会では異業種ながら、平成18年から公共施設の指定管理者として、地域農産物の地産地消とPRを図ることを目的に、「恋人の丘サラダマーケット」を運営業、「松本市波田観光案内所」を四月から11月の間、期間営業しております。

サラダマーケットに隣接する「波田みはらし味の会」と連携した春祭りや秋の収穫祭、松本市農林業まつりをはじめ、各所で開催されるイベントへの参加など、地元農産物の消費拡大のためのPR活動を積極的に行っております。

また一方で、地域ブランドを創出することを旗印に、地元農産物を利用した特産品開発も展開しており、女性部活動から誕生した地粉と大根を使った水餃子は、モチリしているのにアッサリと主食がわりに食べられると評判です。

県の「地域発元気づくり支援金」

の指定を受け、スイカ・桃・りんごの果実酢や天然素材の石鹸・化粧水などを作り、試験販売を経て商品化に向けた最終段階に入っております。

特産品づくりは今後も新たな野菜、果物でチャレンジし、地場農産物のイメージアップを図っていくつもりです。

直売所をとりまく環境は厳しいものの、初心を忘れることなく、生産者と消費者の皆様と交流しながら、安心安全な直売所づくりを目指すとともに、農産物の6次産業化や農工商の連携により地域経済活性化に一丸となって取り組みます。

松本平が一望できる眺めの良い高台にあります。是非おいでください。

農業委員 百瀬秀一

がんばっています

「新村ひまわりプロジェクト」

J A松本ハイランド青年部新村支部

支部長 大澤 弘和

我々J A松本ハイランド青年部新村支部は、平成21年より4年間、松本大学と共に「新村ひまわりプロジェクト」として、ひまわりの栽培を行っています。このプロジェクトは、特にひまわりの栽培を通じて景観形成を図り、観光資源として活用することを目的として活動しています。

通常は7月の下旬に、小麦が刈り取られた後の圃場をお借りして播種を行っています。幸いにも地権者の方々の理解があり、快く承諾をいただき、広大な面積での栽培が行えています。見栄え良く咲かせるために、トラクターにロータリーシーダーを搭載し、土壌の水分状態の良い時を見計らって作業を行っています。この時期は4日程度で発芽して60日程度で花が揃いますが、発芽期の鳥害、その後の雑草、小雨による干ばつ等、咲くまでは気の安まる時はありません。

しかし、朝から日が沈むまで、花を太陽に向けて動き続けるひまわりを見ていると元気が出てきます。

我々がこの4年間で育てたひまわりは、作付け面積で6ha以上、本数は100万本を超えています。このような規模のプロジェクトを行ってこれたのも、地権者をはじめとする新村地区の方々のご理解の賜であり、この場をお借りして感謝を申し上げます。未永くこのプロジェクトが続くように、一層のご協力をお願いしたいと思います。

青年部新村支部、

がんばっています。

農業委員 西塔輝義